（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	パレット			
○保護者評価実施期間	2025年1月10日		～	2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	22	（回答者数）	17
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～	2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・聴覚障害に特化した支援の提供	・平日は毎日スタッフが手話を学習する時間を作っている。 ・手話のみではなく、視覚的にわかりやすい情報の提供を行っている。 ・読み書きが苦手なお子さんに対し、学習のフォローも行っている。	・聴覚障害のみならず、全体発達に関する知識を社内社外含め研修の機会を設けていく。
2	・専門職による支援	・保育士、幼稚園教諭、教師、作業療法士、日本語教師、公認心理師等、様々な資格を持った職員が日々連携しながら支援をしている。	・専門性を維持する為に、社内研修時に専門職の資格を持った職員による研修等で知識を深めていく。また、それぞれの専門性を深める為、積極的に社外の研修にも参加してもらう。
3	・職員間の連携や情報共有、研修の実施	・毎日子ども達が来る前にMTG、帰った後も話をしたりできない場合でもLINEでの情報共有を行っている。また、月１回社内研修で非常勤も含めスタッフ全員で集まる機会を設けている。	・今後も継続する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母会やきょうだい会等での交流の機会がない	・交流会を希望しているのかどうかの確認ができていない。また、利用児支援に注力している為、中々保護者支援やきょうだい支援に視野を拡げられていない。	・まず希望の確認。希望があるだけでなく、まずはこちらから企画をしてみたり情報発信をすることでアプローチする必要がある。 ・保護者やきょうだいが交流の機会を設けられるよう、検討する。
2	・地域交流	・事業所内でイベントが完結してしまうことが多い。	・児童館や学童が近くある為、こちらのイベントに呼ぶことは難しくても伺ったり、公園で遊ぶ等交流する機会を設けていきたい。 ・利用児と同年代ではないが、地域の高校からボランティアに来てもらったり、合同でのイベントを行っている。
3	・情報発信	・行っている支援やを保護者を含め、SNS等を活用した情報発信ができていない。 ・各種マニュアル等作成しているが、周知がなされていない。	・名古屋市子ども発達支援サイト(すてっぷサポート)やSNS等を活用して、保護者だけでなく情報を得たい方々に向けて情報発信を行う。 ・マニュアルや計画等、保護者と共有して連携を図っていけるよう周知する。